

科目名	発達心理学（講義）		担当教員	片川 智子		
			担当形態	単独		
テキスト	保育の心理学Ⅰ（萌文書林）	単位数 授業形態	2単位 講義	開講時期	前期	
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標■</b> 子どもと共に生活し、その育ちを支え、共に成長する大人になることを目指し、この授業では以下を目標とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に子ども時代の発達に関する基本的知識を理解し、次の2点ができる。</li> <li>・子どもが人やモノとのかかわりを通して発達することを理解し、説明することができる。</li> <li>・発達とは生涯にわたるものであること（即ち、自分自身も発達のプロセスにあるということ）を理解し、生涯発達の過程を示すことができる。</li> </ul> <p><b>■授業のテーマ及び概要■</b> 保育者は、人の子ども時代の発達にかかわる重要な存在です。そのことを感じ取り、責任をもって子どもとかかわる姿勢を身につけてください。</p> <p>この授業では実習等で出会った子どもの姿や自分の発達と具体的に結びつけ、エピソードを多く紹介しながら、特に子どもの発達に関する基本的知識と、保育の現場で日々育つ子どもの姿について学びます。発達の基本的知識を理解し覚えるための講義と、具体的に子どもの姿と結びつけて理解し考えるためのディスカッション、及び理解の確認のための小テストを行います。</p> <p><b>■授業計画■</b></p> <p>第1回 保育実践と子どもの発達 第2回 生涯発達① ～子ども時代～ 第3回 環境と発達 第4回 人とのかかわりと発達① ～基本的信頼感～ 第5回 情緒の発達 ～様々な感情、表現～ 第6回 自己の発達① ～自分に気づく～ 第7回 知覚・認知の発達① ～環境への関心とかかわり～ 第8回 人とのかかわりと発達② ～自分と他者とのかかわり～ 第9回 自己の発達② ～自分と他者とのかかわり～ 第10回 知覚・認知の発達② ～環境を知る、理解する～ 第11回 ことばの発達 ～ことばの獲得とコミュニケーション～ 第12回 身体と運動機能の発達 第13回 生涯発達② ～発達の特徴と、共に育つということ～ 第14回 まとめ 期末試験 第15回 期末試験解説</p> <p><b>■準備学習■</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習等でかかわった子どもの姿を思い浮かべながら、教科書の該当部分に目を通してること。</li> <li>・授業のポイントを復習し、理解しておくこと（翌週確認テストを行います）。</li> <li>・授業で示された自己学習を行うこと。</li> </ul> <p><b>■評価方法■</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小レポートや授業中の意見等 — 40%</li> <li>・期末試験 — 60%</li> </ul> <p>※再試験あり（補講期間に実施予定）</p>						
参考文献	保育の心理学Ⅱ（萌文書林）	特記事項	単位を修得出来ない場合、発達心理学（演習）は履修出来ません。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の対象の理解に関する科目			